

6 教育研究等

(1) 訪問教育・重度重複障がい児担当教員研修会

ア 趣旨

障がいの状況等により通学して教育を受けることが困難な児童生徒に対し、家庭、福祉施設、医療機関等を訪問して行う教育を担当する教員や、重度重複障がい児を担当する教員等の専門性の向上を図り、訪問教育及び重度重複障がい児に対する支援の充実に資する。

イ 参加者 特別支援学校訪問教育・重度重複障がい担当者

ウ 開催方法 各校の情報、実践事例を配布し、書面による開催

エ 情報交換内容

①修学旅行について、②進路について、③教材教具とその実践事例

(2) 公立高校特別支援教育地区別協議会

ア 目的

高等学校における校内支援体制の充実と地域連携による実践力の一層の向上を図ること。

イ 参加者

高等学校特別支援教育コーディネーター、発達障がい者サポート・マネージャー、特別支援学校教員

ウ 実施状況

地区	開催日	会場(方法)	参加者数
下伊那	なし		
上伊那	1月21日	オンライン	13人
上小	なし		
長水	なし		
更埴	12月8日	オンライン	17人
高水	7月30日	飯山高校	13人
木曾・松塩	10月19日	塩尻志学館高校	18人
安曇	10月8日	池田工業高校	13人
諏訪	なし		
佐久	なし		

エ 研修内容

- 特別支援学校中学部から進学した生徒への支援
- 書字障がいのある生徒への合理的配慮
- 個別の教育支援計画と個別の指導計画の作成と活用
- 困り感のある生徒の自己理解を進めるための支援

7 進 路 指 導

(1) 中学校特別支援学級進路指導研修会

ア 趣 旨

中学校の特別支援教育担当教員を対象に進路指導の基礎的研修を行うことを通して、進路指導にかかわる実践的指導力の向上を図る。

イ 参加者 中学校特別支援学級担任等 27人

ウ 期日及び会場 令和2年7月6日(月) 長野県総合教育センター

エ 内 容

- (ア) 講義「キャリア教育の視点で授業・生活をつくる」
- (イ) 情報提供「特別支援学級の進路指導の現状」
- (ウ) 実践発表「キャリア教育と進路指導 ～中学校～」
- (エ) 情報交換「現状と課題について」

8 障 が い 児 (者) 理 解

(1) 交流教育提携校

特別支援学校と96校の保育所・幼稚園、小学校、中学校、高等学校等とが提携し、通常の学習、運動会などの学校行事や、児童、生徒会の活動などを通して交流した。

9 特 別 支 援 教 育 就 学 奨 励 費

特別支援学校に就学する児童・生徒の保護者に対して、経済的負担を軽減する目的で、特別支援教育就学奨励費を支給した。 278,947,446円 (国庫1/2以内 139,473,309円)

10 学 校 評 議 員

平成14年度から特別支援学校に学校評議員制度を導入した。

1校当たり5～8名程度 全18校に設置